

多摩川河川敷における 新たな利活用の推進について

川崎市役所建設緑政局緑政部多摩川施策推進課

背景・目的

◆背景

【現況】

- ・BBQ利用者等によるゴミの不法投棄等
- ・運動施設利用者等のためのインフラ

【民活の推進】

- ・河川法改正（H23）→民間事業者による占用が可能に
- ・川崎市民活推進方針策定（R2）→民間活用導入可能性の広がり

【社会変容】

- ・コロナ禍による屋外空間への多様なニーズの高まり

◆目的

- ・民間活力の導入により、課題解決や地域ニーズに対応したより魅力的な多摩川河川敷とすること

多摩川河川敷の状況



- ・現状、橋脚下部河川敷等では春～秋にかけて、専門業者含む不特定多数がBBQを行っており、BBQシーズンである春～秋を中心に、**ゴミの不法廃棄や騒音問題等が頻発**



- 開放的な空間が広がっている
- △利用者が限定的？（マラソン、サイクリング、近隣の散歩、運動利用者）
- △管理の範囲が広い（市で約 1 1 0 ha管理している）

多摩川河川敷の状況



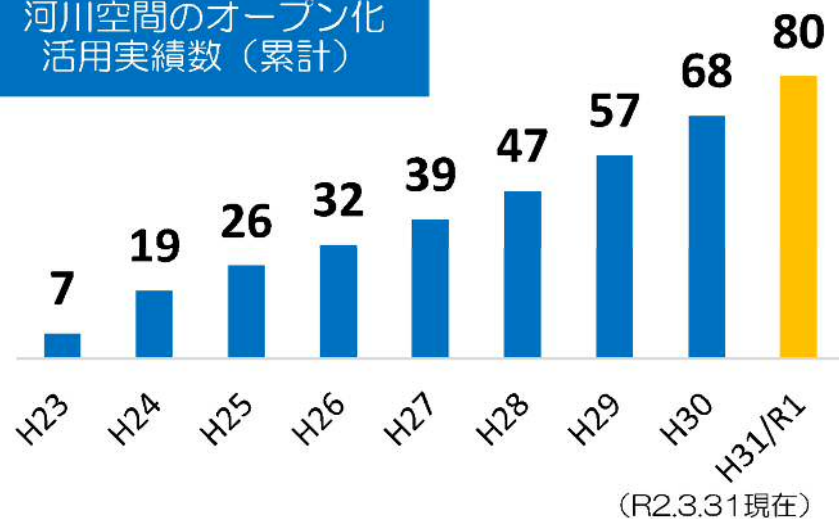
○オリンピックを契機とし、スケートボードをはじめとする
若者文化の発信によるまちづくりに向けた環境整備等に関するニーズの高まり

河川空間のオープン化

・河川敷地の占用主体は原則として公共性・公益性を有するものですが、**「河川をにぎわいのある水辺空間として積極的に活用したい！」**という要望の高まりを受けて、平成23年度にルールを改正し、一定の要件を満たす場合、営業活動を行う事業者等の方も、河川敷地の利用が可能に。

河川空間のオープン化

河川空間のオープン化
活用実績数（累計）



占用許可が可能な施設（例）

- 広場、イベント施設、遊歩道、船着場
- 前述の施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明・音響施設、キャンプ場、バーベキュー場等

国土交通省HPより

河川敷の利活用事例

※各事例が当該地で可能か国と調整する必要があります。

(管理された) BBQ場



キャンプ場



キャンピングオフィス



キャンドルスケープ



河川敷の利活用事例

※各事例が当該地で可能か国と調整する必要があります。

親水テラス



川床テラス

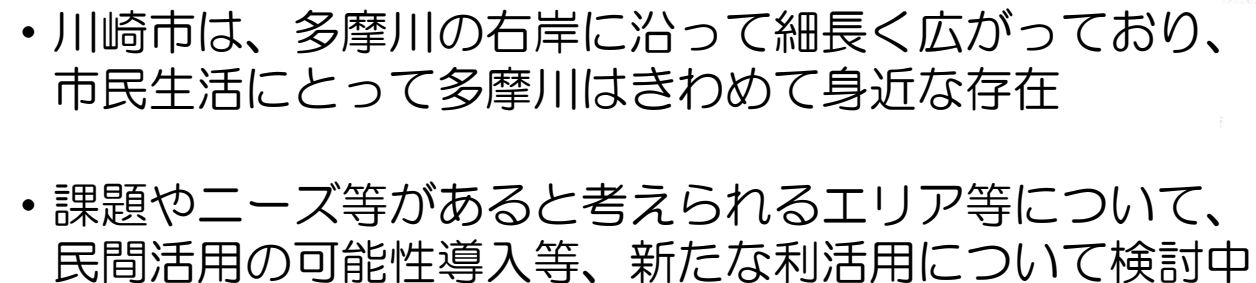


カフェ



スケートボード場





3 地区の概要

	検討箇所	面積	立地	場所の特徴	昨年度の動向	今後の予定
①	登戸地区 広場	4,819㎡	登戸駅：徒歩4分	隣接地： 稲田多摩川公園	令和3年3月 小田急沿線川崎エリアまちづくりビジョン策定（まち局）	11月 イベント 次年度 社会実験
②	丸子橋河 川敷	18,000㎡	新丸子 駅：徒歩9分	隣接地： 運動場や駐車施設 （約6ha）	令和2年8月 社会実験の公募実施 （コロナにより延期）	10月～11月 社会実験 実施 （選定公募事業者 太平洋総業、 サンワックス）
③	見晴らし 公園	1,617㎡ 隣接船着き場約 4,052㎡	川崎駅：徒歩9分	高規格堤防区域 （建築可能） 船着き場あり 隣接地マンション 群	令和2年10月 LOW MITSU PARK FES実施（2日間）	7月21日 PPP意見交 換会実施 （多摩川施策・まち局拠点室） 13社参加 3月 社会実験実施（約 1か月）

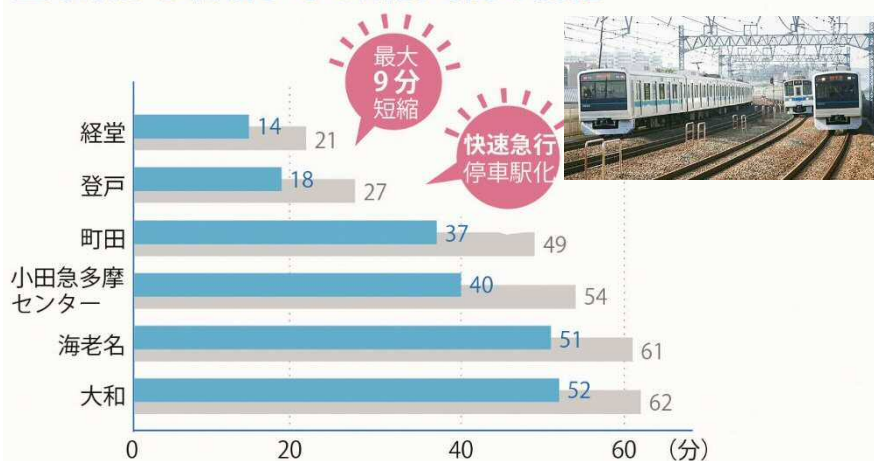
多摩川河川敷（登戸駅周辺）を取り巻く環境

● 2路線乗入れの交通結節点



● 小田急の複々線化

主な駅から新宿までの所要時間の変化



※ 朝方ラッシュピーク時（平日朝の上り方向・下北沢着8：00前後1時間）
 ※ 登戸の快速急行停車駅は、2018年3月のダイヤ改正による

● 水と親しみやすい環境



● 多様な主体との協働・連携のしくみづくり



● それぞれの得意分野や地域特性を活かした協働・連携の取組

多摩川河川敷の管理範囲イメージ（現行）



①

小田急電鉄管理（橋脚下部およびその両脇10m）

②

登戸地区広場 川崎市管理（昨年度まで稲田多摩川公園の暫定広場として利用） 約0.5ha

③

国交省管理用地（③'は時期により雑草が繁茂）

※活用範囲は、①②を想定しているが、今後の検討等により変更される場合がある

登戸・たまがわマルシェについて

【概要】

実施主体：一般社団法人多摩区ソーシャルデザインセンター

開催日時：2021年5月1日（土）10時～16時

開催内容：飲食（キッチンカー等）、展示、イベント（音楽等）、フリーマーケット等

来場者数：約2500名

アンケートでの意見：このようなイベントを沢山開いてほしい。オムツ替えができるきれいなトイレ、小さくてもよいから休めるカフェやベンチが欲しい など

主催者側からの意見：多くの方に集まっていたき、楽しんでもらえてよかった。

一方、準備には非常に時間や労力がかかり、手洗い場や仮設トイレの設置等、予想外の支出もあり、恒常的に行うには課題もあった。





經緯

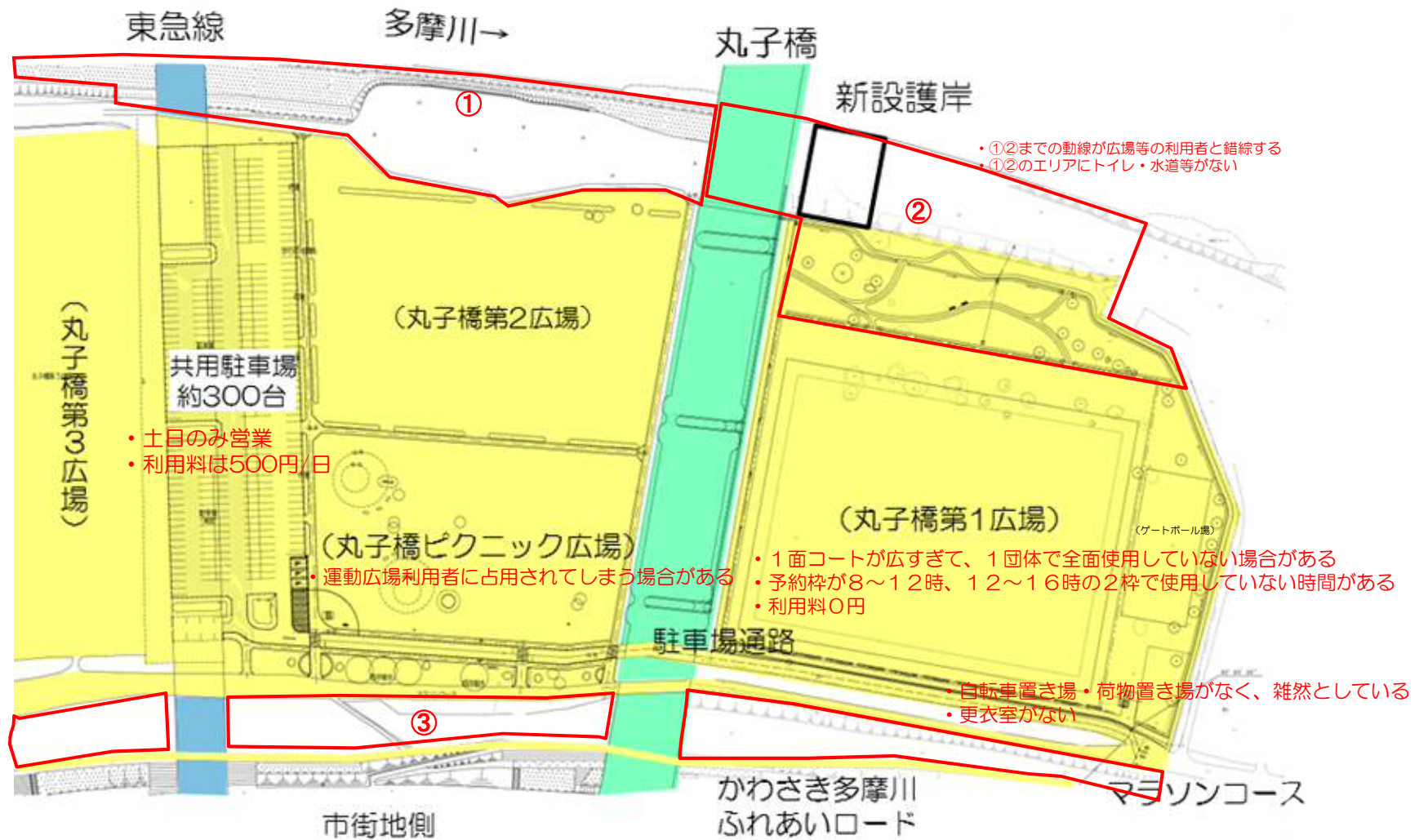
- 1 本市占用地外（赤い範囲）でバーベキュー等の利用者が多く、ゴミの不法投棄等の課題が生じていた。
- 2 H 2 5 から国、警察、地元町内会等とのBBQ連絡会を継続的に実施。（これまで12回実施）
- 3 国、警察、地元町内会町内会等とマナーアップキャンペーン等をしていたが、課題解決に至らなかった。
- 4 R 2 より本市占用地外を社会実験として国から占有

① B B Qの利用禁止

②新たな利活用に向けて民間事業者による提案募集（Ｒ２選定、コロナにより延期）

今後の予定 社会実験を実施・課題等整理し、令和5年度に新たな利活用運用を開始

現状



その他の検討エリア（見晴らし公園）



- 広さ 1,600m²※隣接船着き場を含めると約5,600m²
- 最寄り駅 川崎駅 徒歩 9 分
- 調整状況 令和 2 年度、社会実験を実施
- 今後の予定 令和 3 年度、1 か月間の社会実験を実施し、課題等整理し、令和 4 年度頃～
に新たな利活用運用を開始できるよう進める。

参考) LOW MITSU PARK FES



身近な公園・水辺という公共空間の利活用あり方を模索する機会として、
コロナ禍を受けてのイベント型社会実験を開催

《実施概要》

実施時期：2020年10月23日（金）、24日（土）

来場者数：約1500名

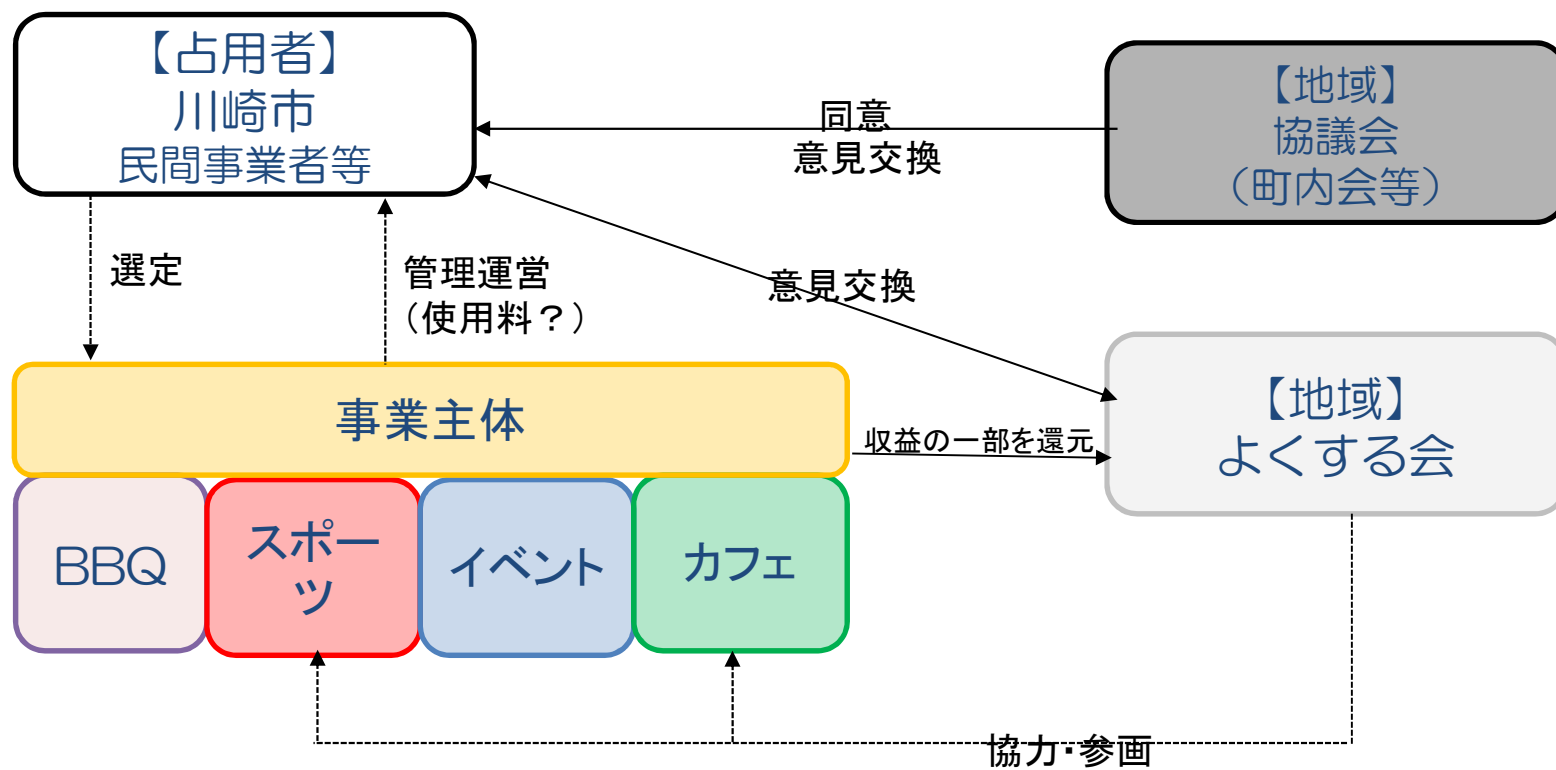
コンテンツ：キッチンカー等による飲食・音楽ライブ・サップヨガほか

《アンケート結果概要》

- 今回のイベントについて、100%の人が非常に良かった、若しくは良かったと回答しており、好意的に受け止められた
- 自由意見では『景色も良くリフレッシュできる場所が、更により良い空間に感じられました。今後も是非今回のようなイベントや憩いの場として有効活用して欲しい』など公園の利活用を望む声が寄せられた



事業スキームイメージ



民間事業者様の御意見を求めたい事項

- ①事業提案のアイデアや意見
- ②事業提案のアイデアを実現にあたって諸条件の確認
- ③次年度に実施する予定の社会実験への意見、参加意向